

附属平野グロッサリー 【音楽科】

教科	分野	用語	考	確	発	定義
音	全	意見交換をする		○	○	イメージや音楽要素について、他者と話し合いをする中で、自分の視野を広げる。
音	全	理解する	○			実際に楽器を手にとったり、音で確かめ合いながらお互いの表現や楽器のしくみについて理解する。
音	全	合わせる	○	○	○	声や楽器の音色をよく聴き、自分の音と合わせる。
音	歌唱	歌詞を読み取る	○			歌詞から作詞者の意図・イメージを捉える。
音	歌唱	表現する	○	○		歌詞のイメージを自分の言葉や音で表す。
音	歌唱	表現を理解する	○	○		音で確かめ合いながら、言葉で伝えあい、お互いの表現を理解し合う。
音	歌唱	分析する	○	○		曲想の変化に着目し、その音の動きの特徴を他の部分と比較する。
音	歌唱	分析を深める		○		分析を通して、音の動きと曲想の変化には関係性があることを捉える。
音	歌唱	表現を工夫する		○	○	グループに分かれて、イメージの変化を主に強弱に着目して創造的に表現する。
音	鑑賞	知覚する	○	○		なぜそう感じたのか、意見交換をし、音楽要素の中からその理由を見つける。
音	鑑賞	音色について言葉で表現する	○	○	○	楽器の音色について、擬音語を使って表現し、意見交換する。
音	鑑賞	分析する	○			曲の一部分だけを聴き、どのような形式・構成になっているか考える。
音	鑑賞	聴き比べる	○	○		テクスチャ（音の重なり）がどのようにになっているか、それぞれの旋律だけを聴き取り、実際に歌って違いを確認する。
音	鑑賞	分析を深める	○	○		単独の旋律、重なった旋律のそれぞれを聴いた場合、どのように感じたか意見交流する。
音	鑑賞	思考力を高める	○	○	○	知覚・感受のかかわり、自分なりに捉えた楽曲のよさとその根拠をふまえて、この楽曲を他者に伝える。
音	器楽	音色を感じ取る	○	○		教師の模範演奏を聴き、どのようにしたらその音色になるのかを感じ取り、音に出してみる。
音	器楽	しくみを理解する	○	○		楽器のしくみについて、実際に楽器を手にとったり視聴覚教材を使って理解する。
音	器楽	分析する	○	○		奏法の違いによる音色や雰囲気の違いを聴き比べる。
音	器楽	表現を工夫する		○	○	お互いに演奏を聴き合い、創造的に表現する。
音	器楽	表現の工夫を高める		○	○	他のグループの演奏を聴き、奏法の工夫を聴き取り、自分の演奏に取り入れる。